第 437 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

『医療の隙間を埋める』～『その人らしいものが 発動して来る』～

2026 年 10 月 26 日『新渡戸稲造記念センター in 新渡戸記念中野総合病院』(中野駅) ―> 順天堂大学 (御茶ノ水駅) に向かった。 その後、本郷三丁目にある訪問看護ステーションに行き、代表(代表取締役)で、2027 年 4 月 27 日の『第 10 回日本地域医療連携システム学会』(Japanese Association of Communication Medicine Cooperation System)の大会長をされる布川麻代氏と面談した。 布川麻代氏の博士論文は『Clinical Benefit of Cancer Philosophy Clinic for Cancer Patients Using EQ-5D-5L Scores』(Mayo NUNOKAWA, Eiichi INADA, Okio HINO)である。

『日本地域医療連携システム学会』は、 2016 年 4 月 1 日に設立された。【学会設立の目的 : より良い医療・介護を提供するために 教育活動を行い、いかに効率よく かつ安全に遂行できるか、研究、調査を行う場となるよう取り組んでいきます。 『医療の隙間を埋める』試みとして全国に広がることが期待される。 人間は、自分では『希望のない状況』であると思ったとしても、『人生の方からは期待されている存在』であると実感する深い学びの時が与えられている。 その時、『その人らしいものが 発動して来る』】である。
2016 年 11 月 5 日に『日本地域医療連携システム学会』シンポジウム【医療維新を目指して ～ 地域医療の今までとこれから ～】:【理事長の筆者は基調講演、厚生労働省医政局の課長による特別講演】が、布川麻代氏らによって企画された(画像)。そして、【日本地域医療連携システム学会 第 1 回学術大会【自己形成力の連携 ～小さな事に、大きな愛を込める～】(画像) は 2017 年 12 月 2 日に開催された。
『日本地域医療連携システム学会』については、新渡戸記念中野総合病院 HP で【本学会は、地域医療分野の総合的な連携を推進し、特に在宅医療ネットワークを構築・整備することを中心とした事業を行うことです。樋野興夫理事長を中心に、医師や看護師・コメディカルの情報共有の場として積極的に活動し、より強固なチーム医療を提供することを目的としています。そのために国内外問わず、関連学会や地域医療推進事業団体と積極的な交流を目指します。より良い医療・介護を提供するために教育活動を行い、いかに効率よく、かつ安全に遂行できるか、研究、調査を行う場となるよう取り組んでいきます。】と紹介されている。 ただただ感謝である。

夜は、Zoom 会議『日中医学協会 2026 年度 第 2 回広報委員会 』に出席した。

日本地域医療連携システム学会
第1回シンポジウム

1st Symposium of Japanese Association of communication Medicine Cooperation System

テーマ：医療維新を目指して～地域医療の今までとこれから～

本学会は、医療及び介護分野の総合的な連携を推進し、特に地域における医師・看護師・コメディカルの情報共有の場として活動することを目的としています。多職種協働のためのネットワーク構築や、国内のみでなく国際的交流により、いかに効率よく安全な医療が提供できるか教育・研究・調査を行う場として活動しています。
今回は、それらの活動をふまえて今までの地域医療の現状を見直し、これから目指すべき形について語り合います。そしてどのように実践につなげていくか、多職種を交えて医療維新を目指すための戦略を考える場となることを期待します。

基調講演 9:30-10:00 **Medical Town, Medical Villageを構築する**
順天堂大学医学部　病理・腫瘍学講座教授　樋野興夫

特別講演 10:00-10:30 **これからの我が国の地域医療について**
厚生労働省医政局　地域医療計画課　課長補佐　木下栄作

インタラクティブレクチャー 10:50-12:00 **地域医療の問題点と目指すべき医療連携システム**
コーディネーター　国立国際医療研究センター国府台病院　待鳥誼洋
コーディネーター　ゆい訪問看護ステーション　所長　布川麻代
看護師　日本医科大学付属病院　患者支援センター　師長　安倍節美
看護師　訪問看護ステーションきょうわ　所長　内田美行
居宅支援介護部門　ネクサスコート本郷　施設長　森江房江
企業　富士通株式会社　ヘルスケアビジネス推進統括部　岩津聖二
その他

日時　2016年11月5日（土）　9：30-12：00 9:00受付開始
会場　フクダ電子本郷新館　　定員　90名
会費　無料　　対象　医師・看護師・コメディカル、医療に興味のある方

申込方法　裏面をご参照ください
お問合せ　日本地域医療連携システム学会　事務局 TEL/FAX 03-5804-1233/ 03-5804-1231
Mail　jacms.info@ddo-corp.com
主催　日本地域医療連携システム学会，**共催**　日本メディカルヴィレッジ学会
機器展示　株式会社ジェイ・エム・エス　マシモジャパン株式会社　フクダ電子株式会社

日本地域医療連携システム学会
第1回学術大会プログラム

日時　2017年12月2日（土）
9:50～15:45（9:20開場）
場所　フクダ電子本郷新館（東京都文京区本郷2-35-25）
対象　医師・看護師・その他医療に携わっている方
参加費　事前登録 2,000円［事前登録締め切り：11月17日（金）］
当日参加 3,000円

自己形成力の連携
～小さな事に、大きな愛を込める～

本学会の設立目的は、地域における医療及び介護分野の総合的な連携を推進し、特に地域におけるネットワークを構築・整備することを中心とした事業を行うことである。特に、在宅医療における医師や看護師・コメディカルの情報共有の場として積極的に活動し、より強固なチーム医療を提供できるネットワークを構築するために、国内外に関わらず在宅医療関連学会や地域医療推進事業団体と積極的な交流を行う。また、より良い医療を提供するための医療従事者に対する教育活動を行い、いかに効率良く安全な医療が遂行できるか、研究、調査を行う場として活動する。
ここに、第1回日本地域医療連携システム学会が、開催される運びとなった。今回のテーマは、「自己形成力の連携～小さな事に、大きな愛を込める～」である。

日本地域医療連携システム学会　理事長
第1回日本地域医療連携システム学会　大会長
順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座　樋野 興夫

http://jacms.org/